



史蹟史料部

2024年6月3日

#54

# 日本人墓地公園 ニュースレター

## からゆきさん慰霊巡拝と佐藤登満の墓

2月7日（水）、東京からお越しの柴田様ご夫妻を日本人墓地公園にご案内しました。ご夫妻は40年ほど戦没者慰霊巡拝を続けていらっしゃるようで、今回は高野山の僧侶2名と共にマレーシアの3カ所とシンガポールに、からゆきさんの慰霊を含めて巡拝をされたそうです。

からゆきさんの供養にと、かわいらしい折り紙の鶴やお菓子、お花をお供えいただきました。ご寄付も賜りまして、深謝申し上げます。墓地公園の修繕維持管理の一部として役立たせていただきます。



※「からゆきさん」については[ニュースレター#4](#)をご参照ください



御堂内にて御経をあげていただきました。史蹟史料部で園内をご案内し、敷地の一番奥にある、この墓地で最も古い墓碑の一つである、佐藤登満(さとうとま)の墓前にも献花いただきました。

佐藤登満は長崎県出身のからゆきさんで、1889（明治22）年に亡くなりました。この墓地が当時の英国植民地政庁から正式に認可されたのは1891（明治24）年のことですが、二木多賀治郎、渋谷銀治、中川菊三の3名がこの地を日本人共有墓地として使用する申請書を英国植民地政庁に提出したのは1888（明治21）年で、その頃には、からゆきさんのお墓があったのです。

墓石の文字は風化によって判読しにくい状態になっていますが、「新嘉坡馬來十五」と読むことができます。馬來街（Malay Street）は日本娼館街であった場所なので、佐藤登満は、からゆきさんだったことがわかります。

低い石囲いのなかに佐藤登満はじめ全部で14基の墓がありますが、いずれも明治22～23年に死去した人たちの古い墓ばかりです。





敷地の一番奥に並び、最古の「からゆきさん」たちの墓



からゆきさんたちのお墓のエリアには、大きなプルメリア（フランジパニ）の木が植えられています。

ハワイやバリ島などでフラワーレイや飾りとして愛される白い大きなお花が特徴的で、木の周りの地面にたくさんの花が落ちます。

白いかわいらしいお花が一面に広がる様子は、若くして亡くなった方が多いからゆきさんへの手向けのように見えます。公園を訪れる皆様もぜひご覧ください。